

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	60.9%					○
算数	56.4%			○		

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使いに関する事項	66.8%					○
情報の扱いに関する事項	52.3%					○
話すこと・聞くこと	65.8%					○
書くこと	45.7%					○
読むこと	65.9%					○

【考 察】

- 「情報の扱いに関する事項」と「読むこと」の領域では全国平均を大きく上回りました。相手や目的に合わせて必要な情報を見つけたり、文章や資料から必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめたりする力が身に付いています。日々の授業では、友達と自分の考えを比べたり、つなげたりしながら学びを深める学習経験を積み重ねております。また、朝の読書タイムや「マイ辞書」の活用による語彙を増やす取組が成果につながったと考えられます。
- 今後は、自分の考えをまとめる学習の中で、理由や根拠をもつことを大切にしたり、友達の考えを参考にしたりして考えを深める力を高めていきます。また、全校で行っている400字作文の取組を通して、文章全体の構成や展開を考える力を高めることができるように指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%	○				
図 形	55.3%	○				
測 定	78.1%					○
変化と関係	41.1%	○				
データの活用	48.6%		○			

【考 察】

- 「測定」の領域において全国平均を上回りました。長さや時間などの量や単位について理解し、目的に合った方法で測ったり、学んだことを生活に結びつけて考えたりする力が身に付いています。日々の授業や家庭学習において学習したことを振り返り、基礎的な知識や技能を身に付けることの積み重ねが成果につながったと考えられます。
- 4つの領域で全国平均を下回りました。特に「基準量、比較量、割合の関係を正しく表している図を選ぶ問題」に課題が見られます。今後は、問題文から分かっていることや求めることを整理して式の意味を考える活動や、図や表などを使って数量の関係を分かりやすく表す活動を大切にしていきます。また、「なぜその式になるのか」、「なぜその考え方でよいのか」という疑問をもつことを大切にしながら、問題を解決する力を伸ばしていきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	みさか小	17.5	55.0	27.5	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 肯定的に回答した児童の割合は、全国平均を下回りました。一方で「できていない」と回答した児童はいませんでした。この結果から、自分なりに学び方を考えようとする姿勢は身に付いているものの、状況に応じて学び方を選んだり、工夫したりすることには、十分な自信をもていない児童がいることが考えられます。
- 今後は、分からない時に教科書やノートを振り返る、友達に聞く、ICT機器を活用するなど様々な学び方を経験できるようにしていきます。また、「どの方法で学ぶか」「うまくいかなかった時にどうするか」を考える機会を増やし、自分に合った学び方を選び、工夫していく力を育てていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	みさか小	5.0	10.0	47.5	25.0	12.5	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校では「10分×学年＋10分」を目安に家庭学習の習慣化を図り、課題の工夫や生活ノートの活用を進めてきました。その結果、「1時間以上学習している」と回答した児童は約6割に達し、全国よりも高い水準となりました。
- 今後は、自主学習の取り組み方を紹介したり、タブレットを活用したりして、工夫して自主学習に取り組めるように働きかけていきます。引き続き、学校と家庭が連携しながら、児童が自ら学習に取り組む習慣づくりを進めていきます。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	3 1 . 4	4 7 . 0	1 7 . 2	3 . 4
6	みさか小	2 0 . 0	5 2 . 5	2 5 . 0	2 . 5

(単位 %)

【考 察】

- 肯定的な回答をした児童が約7割でした。自主学習において、テストやプリントなどの復習問題を工夫して取り組む児童が増えてきています。一方で、学習を振り返って自分の課題を見つめ、それを次の学習に生かすことに難しさを感じている児童がいることが分かりました。
- 今後は、授業の最後に振り返りを行う「みさかの5分」を充実させていきます。「次に何を学ぶか」「どのように学ぶか」といった振り返りの視点を明確にし、児童自身が学習したことを次の学びにつなげられるように指導していきます。

- 4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	5 2 . 7	3 8 . 7	5 . 5	1 . 3
6	みさか小	6 5 . 0	3 2 . 5	0 . 0	0 . 0

(単位 %)

【考 察】

- 全ての児童が肯定的な回答をし、全国平均を大きく上回りました。本校では、一人一人の考えを引き出し、それぞれの考えをつなぎながら学びを深める授業づくりに取り組んできました。また、児童一人一人が活躍することができる機会として学校行事にも力を入れています。こうした取組を通して、相手の考えを受け止めたり、お互いのよさを生かしたりしながら、一緒に課題を解決しようとする姿勢が育っていると考えられます。
- 今後も日々の授業の中で、児童一人一人が安心して自分の考えを表現できる場を作ることを大切にしていきます。児童の思いに寄り添いながら、集団で学ぶ楽しさを感じられるようにします。また、「なかよしタイム」や縦割り活動を継続し、児童同士がお互いのよさを認め、協力し合える人間関係をつくることできるように支援していきます。